



幹部職員をはじめとする職員へ訓示が行われた



事務引継書に署名押印する竹内市長と風早市長職務執行者



訓示では「皆様方と日本一すばらしいまちにしていきたい」などと述べた



谷本功総社市選挙管理委員長から当選証書が手渡された



この日、市長室には、大勢の支持者や報道関係者が詰め掛けた

初登庁の日、市長室で行われた報道関係者のインタビューから

●新市長になって、改めての決意を教えてください

合併は究極の行財政改革ということで、役所の行政コストを徹底的に下げていかなければなりません。これからの10年間、60歳で定年退職する方が196人いまして、早期退職者を合わせて200人以上の方が卒業されます。200人の方の生涯賃金といえますと、200人×3億円として約600億円。仮にこれを3分の1の職員補充に留めると、違った方面に使える新たな資金ができることとなります。

こうしたことなどを含めて、とにかく少数精鋭主義。そして、職員は今までもよく頑張ってくれています。私が先頭に立って歯を食いしばって頑張っていきたいと考えています。

●合併して市の規模が大きくなりましたがどういった市にしたいですか

自然環境を大切にしながら、また人の心を大切にしながら、本物志向のまちを築いていきたいと思っています。旧山手村も旧清音村もそれぞれ

●新市になって、まず最初に取り組みたいことは何でしょうか

旧山手村、旧清音村との一体化。互いに心が通い合うような市政に取り組みたいと考えています。具体的には、今までも出前講座のまちづくり市長室などで、いつでもどこでも時間調整ができる限り出向いて行かせてもらって、説明し、ご協力を求めてまいりました。そういうことを、さらに精力的に進めてまいりたいと思っています。

対話と参加の行政、アカウントビリティー（説明責任）をきっちり果たさなければならぬ時代になっています。医師が手術をする時でさえ、その都度了解を得なければメスを患者に入れられないという状況ですから。市政においては、ますます説明責任を果たして合意をいただいて進めたいと思っています。

●環境保全条例の制定を目指したいということですが

旧山手村、旧清音村を含めた新エネルギービジョンというものが昨年度に出来上がっています。これを参考資料として活用して条例を検討し、皆さんのご協力を得たいと思っています。まず、我々が置かれている状

れ良いところをもっていますので、その良いところをどんどん伸ばしていくようにしたいと思います。また、レベルの高い取り組みもされており、その高い水準にあわせて全体のレベルを上げていきたい。

そして、新・総社市に行けば、本物の良いものがあるぞといわれるようなまちにしていきたいと思っています。市民の皆さん方とコラボレーション・協働の原則で取り組んだならば、それは十分可能であると考えています。

●70票差の接戦でしたが、これをどのように受け止められていますか

相手候補者を支持した方も同じ総社市民の方というのは言うまでもありません。また、キャッチフレーズは「変える」ということでしたので、今の状態より総社市を変えて欲しいと願っておられる方が非常に多いということを実感しました。とにかく、先頭に立って新市の未来のために、将来のために取り組んでいかなければならないと思っています。幸いお互いに、行財政改革や企業誘致を強力に推進していくという点では、政策は一致していました。そうした点も踏まえて、強力で改革を進めていきたいと考えています。

況だと、これから100年経ったら大変なことになるということを、きちんと説明し納得いただいてから、ご協力いただくことが大切だと思います。

●今日の初登庁も自転車通勤でしたが、これからも使われますか

自転車通勤は、エコ（省エネルギー）プラス、自分の健康管理、プラスCO<sub>2</sub>削減に役立つと考えています。温暖化ガスを排出しない乗り物として自転車は、先進国でも奨励されていますので、これからも使っていきたいと思っています。

●投票率が76%台から67%台まで下がったのはどう感じられていますか

大きい都市では50%を割っている市長選もたくさんあります。60%以上の投票率が出たというに関しては、市長単独選挙としては、まずまずではないかと思えます。

●選挙戦を通じて合併についての理解を深めていくと言われていました。理解が得られたでしょうか

合併については、山手・清音地区の方が真剣に受け止められていたと感じています。また、改革を求める声が大きかったと認識しています。